

新潟県 公民館月報

昭和58年6月号

発行所 新潟県公民館連合会
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】
【電話・新潟(0252)24-6073】【振替新潟0-
4049】

発行人 会長 石井耕一
編集人 事務局長 本田清
【定価1部100円 年会員1,200円】



まだ雪のある頃から、ブ
グンとあくらんだ芽をあく
ハサ木の生命力、私はこん
なハサ木のたたずまいに、
苦しい時はハサ木のように
黙つて大地に根を張ればよ
いのだと、人生を教えられ
ます。

ハサ木のきびしい生きざ
まを、何とか自分の作品に
表現したいと思います。

伐り倒されて行く農村の
功労者、ハサ木の挽歌を、
これからも追い続けます。

越後平野とハサ木
は全く独特の風景で
す。昔はもっと沢山
ありました。時代と
共に農業も機械化さ
れ、ハサ木は無用を
通り越して邪魔な存
在となり、どんどん
切り倒されてしまい
ました。ハサ木がいたまし
くてなりません。

労働するために植えら
れ、一代枝葉を自由に伸ば
すことなく、枝を切られ、坊
主にされ、重い稻をかけら
れて一代を終るのです。幼
い時から苦業に耐え、立派
に腕を磨いた無口な老職人
の風格を感じます。

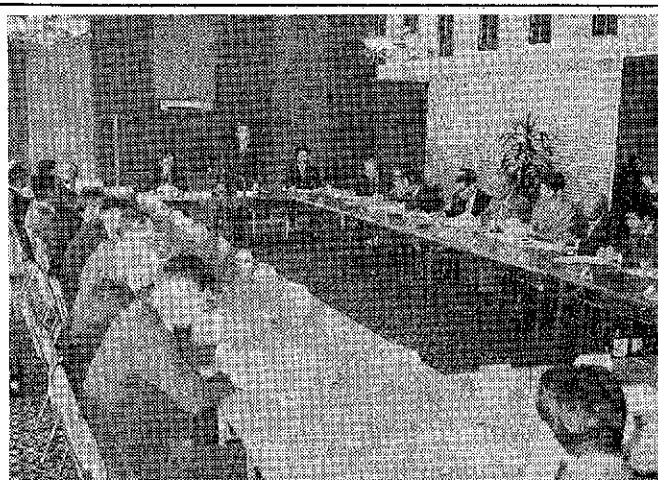
弥彦山に陽が落ちる頃、
茜色に染ったハサ木、木枯
や吹雪の中で、短い枝をふ
るわせて、自然と聞つてい
るハサ木。

まだ雪のある頃から、ブ
グンとあくらんだ芽をあく
ハサ木の生命力、私はこん
なハサ木のたたずまいに、
苦しい時はハサ木のように
黙つて大地に根を張ればよ
いのだと、人生を教えられ
ます。

ハサ木のきびしい生きざ
まを、何とか自分の作品に
表現したいと思います。

伐り倒されて行く農村の
功労者、ハサ木の挽歌を、
これからも追い続けます。

第一回評議員会



(新潟会館で開かれた第一回評議員会)

六月二日、新潟市の新潟会館で開かれた本年度第一回評議員会で、昭和五十八年度事業計画ならびに予算案が審議決定された。また例年、七月以降にずれ込んでいた前年度決算も、併せて議定された。なお、本年度事業計画のあらましと、昭和五十八年度施設国庫補助内定館を別稿に掲載した。

昭和58年度公民館施設国庫補助内定

昭和58年度公民館施設国庫補助額が下表のよう内定した。

ことは荒川町公民館ほか六館が補助対象となり補助総額は255,000千円で、これは前年七館総額352,000千円に対し97,000千円の減額となった。

昭和58年度施設国庫補助の内定額

公民館名	構造	延面積	工事費見込	補助内定額
荒川町 公民館	R C 2階	2,500	550,000	105,000
大和町 公民館	R C 2階	1,035	270,000	39,000
燕市小池 公民館	S 2階	497	73,981	17,000
見附市今町 公民館	R C 2階	1,000	155,000	39,000
柏崎市高田 公民館	R C · S 2階	760	131,400	24,000
柏崎市上条 公民館	R C 2階	400	72,000	17,000
青海町東町 地区公民館	S	500	80,000	14,000
合計	7館	6,692	2,332,381	255,000

当日の出席者は110名、ほかに委任提出四名。また議長に山本誠三郎氏(上越市)を選出。過日農業市長選挙を果たした石井耕一議長が大変いきのよくなつたばかりの

委任提出四名。また議長に山本誠三郎氏(上越市)を選出。過日農業市長選挙を果たした石井耕一議長が大変いきのよくなつたばかりの

「農業市長選挙は、激戦だと伝えられ、中傷戦に發展して、新聞等の報道が豊富なのが特徴だ」と述べた。これに付随して、「農業市長選挙は、豊田市長選挙などもある。お互いにこの方

面でも研鑽をはからねば。公民館活動における政治教育の分野に

も未熟なもののが残されているといふことがある。お互いにこの方

面でも研鑽をはからねば。」

議長が大変いきのよくなつたばかりの

「農業市長選挙は、豊田市長選挙などもある。お互いにこの方

面でも研鑽をはからねば。」

議長が大変いきのよくなつたばかりの

「農業市長選挙は、豊田市長選挙などもある。お互いにこの方

面でも研鑽をはからねば。」

議長が大変いきのよくなつたばかりの

「農業市長選挙は、豊田市長選挙などもある。お互いにこの方

面でも研鑽をはからねば。」

議長が大変いきのよくなつたばかりの

おたがいが先生

おたがいが生徒

1 春大学講座は、愛講生がひとりの人間、ひとりの市民として、自分の人生をどう生きるかについて、ともに考えて話合ひ、学び合ひてゆく

公民館番頭日記

(26)

3

4

5

柏崎市中央公民館が実施している多くの講座の中で、もっとも庶民が古く、規模の大きい寿

寿大学講座では、受講生は

県公連の財政收入は、市町村分

金額と収入減額と審議案の説明、審議。昭和五十八年度事業計画十四回新潟県公民館大会登録本計画昭和五十八年度算公連役員会について等が上程され、それを原案とする議定された。

参考事務員 徳田助夫

私は公民館の職員も、春大

学講座の成功のために一生懸命にがんばります。みなさんの健康を心でやみません

限りの激励であります。

私が公民館の職員も、春大

学講座の成功のために一生懸命にがんばります。みなさんの

健康を心でやみません

限りの激励であります。

私が公民館の職員も、春大

学講座の成功のために一生懸命にがんばります。みなさんの

健康を心でやみません

限りの激励であります。

私が公民館の職員も、春大

学講座の成功のために一生懸命にがんばります。みなさんの

健康を心でやみません

限りの激励であります。

私が公民館の職員も、春大

学講座の成功のために一生懸命にがんばります。みなさんの

健康を心でやみません

昭和58年度新潟県公民館連合会事業計画

1. 重点目標

- (1) 市町村公民館の振興は、第一に施設整備の拡充強化にあることを認識し、この機運をいっそう盛り上げるために、公民館大会等の機会を活用して相互研修に努める。
 - (2) 新潟県公民館振興市町村長連盟との提携をいっそう強め公民館振興に関する国および地方公共団体の行財政施策の強化促進に資する。
 - (3) 公民館をめぐる諸制度改善への提言を活発にし、社会教育法一部改正への世論を高める。
 - (4) 市町村公民館の実際活動の充実と向上に資するため新潟県公民館月報の紙面刷新をはかるとともに購読者の増加に努める。
 - (5) 新潟県公民館連合会の健全なる財政運営を維持していくため、新潟県市長会ならびに新潟県町村会および新潟県当局の理解と抜本的援助を要望していく。

2 内容別事業計画

① 遠終協議

- | | |
|--------------------------|----|
| (1) 全国公民館連合会総会 | 1回 |
| (2) 都道府県公連事務局長会議 | 1回 |
| (3) 関東甲信越静公民館連絡協議会理事会 | 1回 |
| (4) 関東甲信越静公民館連絡協議会事務局長会議 | 2回 |
| (1) 県公連評議員会 | 2回 |
| (2) 県公連理事会 | 4回 |
| (3) 県公連監事会 | 1回 |
| (4) 県公連主事連絡会 | 1回 |
| (5) 県公連編集委員会 | 2回 |

② 大会・研修会・講習会

- (1) 第34回新潟県公民館大会（8月26日 新井市）
 - (2) 上・中・下越公連主催の大会・研修会・講習会の共催
 - (3) 各都市公連大会・研修会・講習会の共催
 - (4) 県公民館長研修会の協賛
 - (5) 第24回関東甲信越静公民館研究集会参加

(9月2・3日 神奈川県藤沢市)

- (6) 第6回全国公民館研究集会参加
(10月26・27日 岩手県盛岡市)
(7) 第32回全国公民館振興大会参加 (12月上旬 東京都)
(8) 昭和59年度公民館施設国庫補助増額運動
(12月下旬 東京都)

(12月下旬 東京都)

③ 資料発行・あっせん

- (1) 「新潟県公民館月報」の発行
 - (2) 「公民館関係法令解説」の発行
 - (3) 「月刊公民館」の販売事務に協力
 - (4) 社会教育関係優良図書紹介あっせん

④ 社会教育関連機関、団体との提携事業・運動

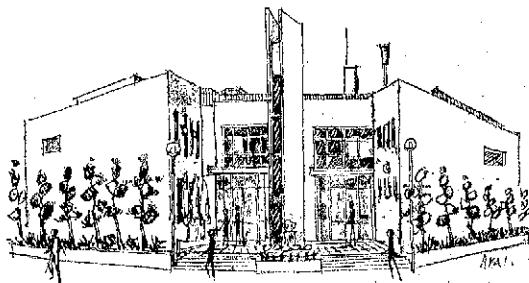
- (1) 県社会教育協会の事業に協力
 - (2) 県社会教育団体の事業に協力
 - (3) 県広報協会の事業に協力
 - (4) 県図書館協会の事業に協力
 - (5) 奉仕銀行事業に協力
 - (6) 行政監察相談事業に協力
 - (7) 安全会議事業に協力
 - (8) 明るく正しい選挙推進運動に協力
 - (9) 貯蓄推進運動に協力
 - (10) あしたの新潟県を創る運動に協力

- (1) 県民運動に協力
 - (2) 交通安全運動に協力
 - (3) 緑化推進運動に協力
 - (4) 献血運動に協力
 - (5) 環境衛生推進運動に協力
 - (6) 社会を明るくする運動に協力
 - (7) 青少年育成運動（県民会議）に協力
 - (8) 国民体力づくり運動に協力
 - (9) 子供を水から守る運動に協力
 - (10) 親切運動に協力
 - (11) 人権運動に協力
 - (12) 各種過問運動に協力

昭和58年度役員・評議員名簿

柏崎市公民館の充実振興策・答申

柏崎市公民館運営審議会



柏崎市中央公民館

柏崎市公民館運営審議会(小熊哲哉委員長)では、昨年6月10日、館長から諮問のあった「柏崎市公民館の充実振興策」について、全市公民館関係者(115名)に対する二回にわたるアンケートを中心に、研究協議をかね、さる4月21日別記のような答申をまとめ、連絡等にあたる公民館である中央公民館の西巻義三館長に答申をした。以下、答申の内容を紹介し参考に供したい。

(柏崎市中央公民館・参事兼事務長 德間助夫)

柏崎市公民館の充実振興策(答申)

まえがき

柏崎市の公民館は「柏崎市長期発展計画」により、施設の設備が着実に進むとともに、その利用も着実に伸び、市民の公民館に対する期待も年ごとに高まり、一層の充実、振興が強く要望されている。

柏崎市公民館の充実、振興策として当面する課題を中心

- I. 事業の課題と充実、振興策
 - II. 施設、設備の課題と整備、充実策
 - III. 役職員体制の課題と整備、充実策
 - IV. 他の課題と充実、振興策
- について下記のとおり答申する。

記

I. 事業の課題と充実、振興策

社会教育の実施機関であり、地域における生涯教育の中心的な施設である公民館にとって、事業は生命であり、施設、設備、職員体制などの条件も、すべてこの事業によって評価されるとも言われている。公民館の事業を充実、振興するため、次の課題についての配慮と努力が特に必要である。

1. 住民の自発的な学習意欲をどのように高めるか。
公民館活動の基礎は住民の自発的な学習意欲にあり、そのため次の配慮と努力が必要である。
 - ・広報紙、展示会、発表会など継続的、計画的な広報活動。
 - ・リーダーの発掘、育成、交流。
 - ・各種学習グループの交流。
2. 住民の学習要求課題をどのように把握するか。
住民の学習要求課題を把握するため次の配慮と努力が必要である。
 - ・生涯教育推進のための組織をつくり、その組織を中心とする継続的、計画的な学習要求の調査。
 - ・学級、講座、教室等の運営委員会等をとおしての把握。
 - ・公民館推進委員会、地区内代表者懇談会、その他の機会と場を活用して把握。
3. 住民のコミュニティ意識をどのように高めるか。

住民のコミュニティ意識の高揚は、コミュニティづくりの基本的な課題であるとともに公民館の課題でもある。そのため次のような配慮と努力が必要である。

- ・住民による地域課題の調査活動。(アンケート、話し合い)
- ・各事業の目的、位置づけおよび内容、方法等の検討と改善。
- ・リーダーの発掘、養成、交流。

4. その他

- ・関係機関、団体等との連携。
- ・経費の受益者負担。(応分の)

II. 施設、設備の課題と整備、充実策

施設、設備を整備して、住民の自主的な生涯学習活動とコミュニティづくりの場として提供することは、公民館の基本的な役割である。そのため次の課題について配慮と努力が特に必要である。

1. 施設

- ・施設未整備地区公民館の施設の整備。
- ・高齢者、身体障害者の利用のための施設の改善、整備。
- ・連絡等にあたる公民館の施設の整備。
- ・市民の日常的交流のためのロビー的スペースの整備、充実。
- ・駐車場等の整備、充実。
- ・施設の維持管理に要する経費の確保。

2. 設備

- ・印刷用機材器具の整備、充実。
- ・公民館バスの整備、充実。
- ・視聴覚用機械器具の整備、充実。
- ・体育レクリエーション用機械器具の整備、充実。
- ・展示用機械器具の整備、充実。
- ・資料、学習用教材、教具と格納スペースの整備、充実。

III. 役職員体制の課題と整備、充実策

公民館の充実、振興は役職員に負うところがきわめて大きく、整備された公民館の施設、設備に魂を入れ、血をかよわせるのは役職員の士気と資質と言っても過言ではない。その役職員を充実するために、次の課題について配慮と努力が特に必要である。

- ・公民館地区指導員の勤務の常勤化。
- ・コミュニティ指導員の報酬に対する市費助成。
- ・公民館推進員の増員。(地区の規模に応じて)
- ・公民館役職員の研修。
- ・連絡等にあたる公民館の館長の常勤化。
- ・公民館運営審議会の毎月開催。

IV. 他の課題と充実、振興策

上記のほか、公民館の充実、振興のため次の課題についての配慮と努力が必要である。

- ・公民館とコミュニティの関係の明確化。
- ・関係機関、団体との連携。
- ・コミュニティ柏崎方式の検討。

むすび

おわりに柏崎市公民館の充実、振興策の推進にあたって、特に留意すべきことを概括します。

- ・各公民館においては単年度計画のみではなく、長期的展望にもとづく長、中期計画を住民の参加協力を得て策定することが望ましい。
- ・事業の充実、振興、施設設備と役職員体制の整備充実にあたっても、住民の参加、協力を得て推進することが望ましい。

第5回全国公研集会記録から

高令者教育を推進するための課題・これからはどうすべきか(9)

第5回全国公民館研究集会が去る10月13日・14日長野市で開かれ、このたび記録がまとまった。

この大会では、管理経営部会13分科会、事業活動部会27分科会が設定され管理・経営・事業活動の具体策について熱心に討議された。ここに内容の一部を要約して紹介していきたい。

助言者 元全国公民館連合会理事 朱膳寺春三

司会者 兵庫県西宮市中央公民館長 森口 久雄

基調発表者 鹿児島県指宿市中央公民館主事 村田 正義

討議の柱

- 1 現代社会における高令者の生き方と学習活動とのかかわりあり。
- 2 高令者の社会参加の進め方(社会奉仕活動への参加等)
- 3 高令者と若い世代との交流

研究討議

- ・老人学級と称して野外学習や実習を含んだ取り組みやすい内容で、年間30時間程度学習している。また学級の運営は受講者があたり、学習内容はアンケートを基に設定し、最後にテーマを設け文章で発表する。
- ・高令者教室を開設して10年になる。その間受講者の変動は多々あるが、学習の内容は健康問題、交通安全、議会の傍聴、各委員長との懇談等、終了時には芸能大会を催す、その他100人受講認定証を贈呈。最近は身近な話(小中学校の先生)を聞き、子供の考えを知りまた子供の親の考えも知る。
- ・人口の急増地、出前の学級で行なっており趣味的なものが多い。
- ・人を集めるためにたいへん苦労するが、高令者学級については、人の集まりもよいし出席率もよい。しかしこのままでよいのか。
- ・学級では自分達の生まれた地域、育つて去っていく地域の問題を探り解決していくべきではないか。
- ・準備から後片づけまで公民館で行ない、社会が自分を必要としている、自分が社会に役立っているんだという自覚がもてない。
- ・家庭内の関係(親子・嫁姑)がうまくいっているから学級に参加できる。
- ・高令者人材活用事業があるが、あまり活用していない。公民館の各種グループ、サークルの中で特に技能のある人に指導者となつもらっている。

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

- ・一家の中でも高令者が口を出すことが少なくなった関係か、最近集会等で高令者の意見・発言がないし、他世代との交流を図ったがうまいかなかった。
- ・がまんするという教育を受けてきたし、たよりになるのは年金だけ、若い人は共働きで経済的に発言力がある。なかにあっても若い人に任かせておけばよい。
- ・年寄りはしゃべるな、働くな、病気をするなど言われるが、老人はしゃべり、働き、病気をするものであるということを、これから老人となる向老期の人達の理解が必要である。

助言者のまとめ

- ・生きがいとは簡単にえられるものではないということを理解し、それを前提に高令者学級はどうであるか考えてみる。基調発表をみると一般的なパターンであり、特殊敬老会的現代版でもあり、これをどう脱却し対応していくか、また高令者学級の問題の一つは、公民館という隔離(高令者学級、婦人学級、青年学級)の中で学習するのではなく、この枠を取り払い30~40代の婦人、20代の青年の仲間に入れてもらい、いっしょになって学んだほうが、より深い学習ができるのではないか。
- ・学級の運営は学級生があたり、毎回の準備、後片付け、学習計画等自分達のことは自分達でし、自立心を育てる。また自分が社会にどう役立っているか、若い人達に迷惑をかけずにどう生きていくか、ただそれだけを思っている、そういう点までつっこんでいかないと、うわべだけの学級となってしまう。
- ・若い世代との交流を企画しても、発言がなく穏りがない。昔から「老人は若い人に任かせておけばよい」といった消極的姿勢、時代感覚の相違があるが、ただ発言しないからではなく、下地を作つておく仕事から始める。

- ゲートボールにても、子供や婦人に教えて交流試合をし、フォークダンスや料理講習会に互いによんだりよばれたりして、単に言はただけでなく行動も通じて交流する。
- ・学級の中で記録、文集を作り活用する過去の経験と体験に基づいた話がきける。



◎内 容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規定・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

A5判34ページ 1部300円(送料実費)

◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073

見附市新潟公民館

新生公民館致賀記

活発な活動は施設の力

モデルケースとなり意欲満々

(31)

公民館は花ざかり、これまでにすでに三十七館の
公民館が登場。好評をいただいています。これから
もどしどじ紹介します。

新館経営に取り組む
地区的皆さんの公館建設による熱意、特に郷土の名門大橋清
蔵先生の特志によって六館併設の
中で見附市新築第一号の公民館として、一月九日竣工式、翌、十日
から開館。今日に至っている。後
に続く他館の新築を予想すると、
發生したことは確かに施設の力である。

それらのモデルケースになると
いふ心配りと、地区民の熱意したこと
が新しい社会教育の発展作るな
ればならない使命感に支
えられて、新館経営に取り組んで
いる。開館と同時に利用回数もふ
り返舞を引き起こしたが、同
じく他の公的機関、社・教関係団
体、その他行政の末端組織など個
体的に運営したことなどが多かった。

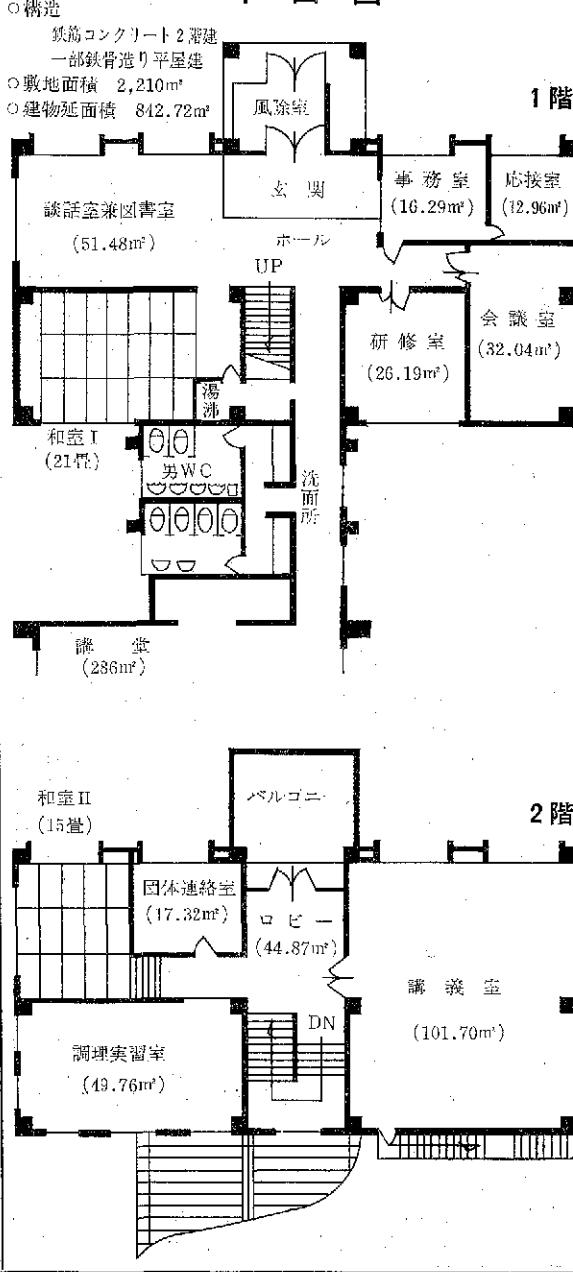
考えさせられたこと
新築記念事業の一環として手始め
たのが「文化・社会教
育」、「農業考査会」という各三回
の連続講座と「子ども祭
り」二回の行事であった。いろ
いろな反響を引き起したが、同
じく他の公的機関、社・教関係団
体、その他行政の末端組織など個
体的に運営したことなどが多かった。

複雑多様な組織の中に組み込まれ
ている住民を、自由な癡者生
活者として、公民館は意欲を引き
出し、係わっていかなければなら
ない。それら諸組織の調整主体、
大きな地域課題のつてである。

企画した事業の実施は主なる対
象の所属団体と、具体化の計画段
階から参画をして努力をめぐらし、そ
の意識・关心・希望・意見に即応
して推進感する。
四利用者団体協議会、足下を固め
て、社会教育など抽象的な理想を語
りきりの中央分野はないが、こ
れほど拠点所はない、具体的な実践
活動の段階はほかの分野もないが、こ
れでこそ、その本来の使命を効果
的に達成することができるのでは
なかろうか。

(見附市新潟公民館長
岩見信雄)

平面図



公民館の文芸誌



シビルミニマムは

間に合わなくなる

「街がさびれて本当に寂しく」と
るのじょうね

「保険の集金人がなげてこない。
湯の瀬舞街として全国に名の通つ
た古町」のことである。

商先網、しょ中街を歩く人だ
から余計感じるのである。

街には人通りがぱらでしゃ。
大きなお店では、品物をうしら
とほりがかかるようしそうもな
いとう感じ、又新しくお店

では誰を相手にするのかと思ふほ
どシャレっていて入り口の「古
絆地」といわれている旭町の方
では一体、新潟の中心地はな

「以前いた所なんかビルが建つた
のはいいが、住民が減ってしま
い、車は減るところが増える。一
方この裏に車を魔法使いがザア
一ヶ所してみたら、轟の間は

「夜は賃物に出ない習慣で貯
蓄があるよ、夫大都會の顔にな

「橋がさびれて本当に寂しく」と
るのじょうね

「じいじも死んでしまいました
ね、古い棲む家がこわされる
と、陸軍場がマンションでしょ
う。そのマンションが売れないん
ですって。貴婦ならまだいいんで
すってね。ところがそんなのは長
い時代はなく、旅の人が

「八時になると、古町はな
どの店は閉めてしまう。旅の人が
橋のあと通りだって、もうといく
にござれてしまますね」

「八時になると、古町はな
どの店は閉めてしまう。旅の人が
橋のあと通りだって、もうといく
にござれてしまますね」

「八時になると、古町はな
どの店は閉めてしまう。旅の人が
橋のあと通りだって、もうといく
にござれてしまますね」

「八時になると、古町はな
どの店は閉めてしまますよ。郊外の方
はどこで寝やかになって、この
辺は今アパートとスーパー、駐

車場とマンションだけになると
はまだでしょうか」と説かれた。

「そうだよな、道路という道
路は重だけのもの、人間は狭くの
なってしまったんだですよ。省エネ
のあればなんでも結構
です。説明文は四百字程

度でお願いします。

色紙(表紙絵)募集

傑作、利用グループの中
で絵をよくする人の作品
を募集する位置

公民館の絵画教室での
活動、利用グループの中
で絵をよくする人の作品
を募集する位置

(にじがた婦人ジャーナル
第九号)から

政治を担当する人は、それ等
に自を回してくるのだろうか。高
齢者を筆頭に見るよ
うだ。

公民館を軸として、地域に根ざした文芸活動がさかんにおこなわれて
いる。

編集部に届けられた公民館関係文
芸誌のなかから、今月は新潟市中央
公民館内に発行所をもつ「にいがた
婦人ジャーナル」からの一文を紹介
する。この雑誌は、同公民館内に活
動の場をもつ気鋭の婦人グループが
発行しているもので、毎号テーマ別
の特集、座談会、ずいひつ等、洗練
された記事で満たされている。送料
とも500円で中央公民館であっせん
している。

プロフィール

紫雲寺町公民館主事

板垣 克彦 氏 (31才)

戦後も三千余年、町
々に近代的な公民館が
建設され、社会教育も
また新しい時代に入っ
た感じがある。ここに
まで、次の道を切
りひき、現在に見
るままで、

生み出していく様は、頗もし
い限りである。「社会教育に
携わる者は、口上を持たな
ければならない」これが彼の
信条である。

彼はまた、自己ともに許
の免許をもらひること、公
説、未公説を含め多種多様な
ものの資格保持者なのであ
る。出はじめたばかりの段
りから、現任に見
るままで、

政治をしてもらひたるものであ
る。その後は、明日の公民館
へ向けて、日々足をつけた
る若手の一人が、イタタニ事
業の板垣見逐事である。

板垣は、日々ケロリと
取り組む姿勢は、常に入った
ものである。それもそのは
ず、親説、財政、保健、企画
課という経験が示すように、
町行政の要所をうごめいて見
それを「れの血肉」としてくる
からである。

三十にして立つの言葉
とおもち昔あふれる行動力
と、柔軟な頭脳をフル回転さ
せまいりたいと思いま
す。

公民館で作成した資料や
文芸作品集または報報など
を渡送ください。ません
か。県内の皆さんへも紹介
してまいりたいと思いま
す。

試してみたいだけだと
もばげて言ふ。
進取の気概が、これから
の公民館にとって不可欠の要
件であることを恵みば、彼の
将来の成長が業をなさる。

三十にして立つの言葉
とおもち昔あふれる行動力
と、柔軟な頭脳をフル回転さ
せまいりたいと思いま
す。

かくて、新進気鋭の社説主
事として、墨に名を附せた
鬼鳴寺事が町長に転進した
今、明日の当町の社会教育を
担う者として、益々の精進を
望むものである。

(紫雲寺町公民館長
大久保 正)

◎

